

## 新しい日常における受付・案内に関わるサービス事業等の安全な実施に向けた実証

## 実証概要

実証場所	竹芝客船ターミナル
実証フィールド提供者	東京都港湾局
実証時期	2021年2月28日（日）～2021年3月1日（月）

## 実証内容

受付案内業務は、物流サービス等の社会の安定の維持に不可欠なサービスや、資格・検定の試験会場等、様々なサービスにおいて重要な役割を担っています。

このような中、新型コロナウイルス感染症の流行より、従来の受付案内業務は、人と人との接触を減らし、感染リスクを低減しつつ安心・安全に実施することが求められています。更に、交通移動やスポーツ大会の実施等様々な活動を継続するため、PCR検査のニーズが増えたことから、新たに安全に行う必要のある受付案内業務として、検体等の受け取り業務が生じています。

しかし、これらの業務は正確性が求められることから、現状では人の手で行うことが基本となっており、いかに正確性を確保しつつ、接触機会を減らして実施することが課題となっています。

そこで本実証では、一部の島しょへ向かう船の乗船客等に試行的にPCR検査を実施している客船ターミナルを実証フィールドとして、PCR検体等の受け取り・受付業務や受け取り後の搬送を、模擬的にロボットにより行いました。非対面・非接触・遠隔で実施することで、対応スタッフやお客様の負担軽減、感染リスクを低減することを目指しました。

本実証では、実際に実施しているPCR検査の受付は行わず、模擬的に受付業務を実証として実施しました。

## 実証ロボット

## 受付



ロボット名 (製品名)	分身ロボットOriHime (OriHime)
企業名	株式会社オリィ研究所
ロボット概要	OriHimeにはカメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、インターネットを通して遠隔操作できます。OriHimeは学校や会社、離れている家族などどこにでも置いて会いに行けます。 OriHimeで周囲を見回したり、聞こえてくる会話にジェスチャーでうなづきや手を振る等のリアクションが得意円滑な双方向コミュニケーションが可能です。
事業概要	PCR検査場所において、来所者に対し担当者OriHimeがPCR検査の実施方法や検体の提出方法などの案内や誘導業務を実施します。 ウィルス感染を抑えたい環境の中にOriHimeを置くことで担当者の感染リスクを低減できます。遠隔操作なので担当者の交代もしやすく稼働の負担軽減ができます。 OriHimeを操作するのが「人間」なので、来所者に視線を合わせて会話することができ、質疑応答や会話の中でうなづいたり手を振るなどジェスチャーによるリアクションで「その場にいる」ような双方向コミュニケーションが可能です。来所者の会話に対応できることから検査に来た方の不安を低減し効率よく検査できるよう誘導することができます。

## 新しい日常における受付・案内に関わるサービス事業等の安全な実施に向けた実証

## 実証ロボット

## 受付



ロボット名 (製品名)	遠隔操作等身大ヒューマノイド SEED-Noid
企業名	THK株式会社
ロボット 概要	<p>「SEED-Noid」は、インターネット回線を利用した遠隔操作・双方コミュニケーション可能な等身大ヒューマノイドです。操作者の身体の動きをトレースする「モーショントレーサー」を利用することで、誰でも簡単に操作することができ、あたかも自分がその場に居るかのようなコミュニケーションが可能です。また、深度測定可能なカメラを胸部に搭載しており、受付業務といった手元での作業を実現します。</p> <p>遠隔操作は、感染防止の面で重要となる、非接触・非対面を実現することのみならず、タブレット等のIT機器の操作を強要することなく、対面と変わらない人に優しい対応を可能とします。さらに、特定地域での職務を、時間を区切って他の複数の地域に分散することも可能であり、何らかの制約がある人に対し新しい雇用を創出します。特定の場所では、感染防止から人員を削減しつつ、別の地域では新しい雇用を提供する、雇用創出ロボットとなります。</p>
事業概要	<p>LMガイド、ボールスプライン、ボールねじ、LMガイドアクチュエータ等の機械要素部品の開発・製造・販売。</p> <p>その他、精密XYステージやリニアモータアクチュエータをはじめとするメカトロ関連製品各種、リンクボール・ロッドエンドなどの自動車部品、戸建住宅から高層ビルまで対応可能なTHK免震システムの開発・製造・販売。</p>

## 新しい日常における受付・案内に関わるサービス事業等の安全な実施に向けた実証

## 実証ロボット

## 搬送



ロボット名 (製品名)	アキュラシー (ACUR-C)
企業名	スマイルロボティクス株式会社
ロボット 概要	<p>ACUR-Cは飲食店向けの下膳配膳を行うために開発されました。そこには世界最高レベルのロボット技術が注ぎ込まれています。SLAM技術を用いた自律移動だけでなく、アームハンドがあるのが特徴です。特許出願中の低出力で重いものを持つことが出来る、安全で力持ちなアームハンドを持つため荷物の積み下ろしを人無しで行うことが出来ます。</p> <p>3次元空間の認識技術により周囲の認識を行い、安全で役に立つ、次世代の非接触な自動配送を実現します。</p>
事業概要	<p>スマイルロボティクス株式会社は「ロボット技術で全世界を笑顔に」をミッションに、東京大学情報システム工学研究室(JSK)出身で元Googleのロボットエンジニアが集まり、2019年に創業したロボット開発企業です。</p> <p>世界最高峰の人共存型モバイルマニピュレーターを開発し、飲食店や施設等の室内マイクロ物流に革新を起こします。</p>